

令和3年産 コメ通信

第10号（令和3年9月15日）

【発行】
北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話0186-62-1835）

籾の黄化程度のほ場間差に注意し刈り取りを！

1 気象経過と生育状況

【気象経過】

- 気温の推移は、8月上旬はかなり暑くなりましたが、その後、8月中旬は平年よりかなり低くなりました。また8月下旬から9月上旬にかけては平年並となりました。
- 日照時間は、8月上旬は多くなりましたが、その後中旬以降は少なく、8月全体では平年の約80%となりました。特に8月3・5半旬は少なくなっています。
- 降水量は、8月が平年の約80%となり、9月に入ってから少ない日が続きました。ただし、8月25日にまとまった雨が降り、8月5半旬の降水量はかなり多くなっています。
- 9月9日発表の1か月予報（仙台管区气象台発表）では、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多くなるとの予想となっています。

【生育状況】

- 成熟期の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種あきたこまち）の調査の結果、稈長、穂長、穂数、有効茎歩合のいずれも平年に比べて大きくなりました。
- 稈長が長いこともあり、倒伏の発生が見られています。定点調査の結果、倒伏程度は0.4（平年0.4）となっています。

表1 定点調査結果（成熟期：9月15日）

	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	有効茎 歩合(%)
本年	86.0	18.2	477	80.3
平年	81.9	17.3	465	76.8
前年	83.3	17.4	472	78.5
平年比較	105%	105%	103%	+3.5
前年比較	103%	105%	101%	+1.8

※平年は過去10か年の平均値

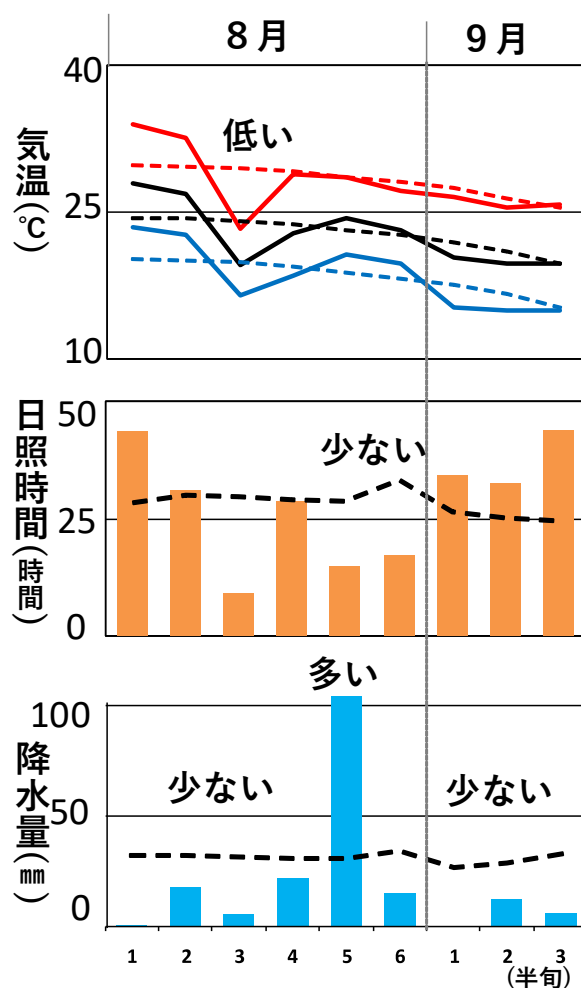


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

2 刈り取り適期の判定

○ 本年は8月上旬までとそれ以降の気温、日照時間の差が著しく、8月中旬以降低温少照となりました。出穂時期により黄化程度が大きく異なる可能性があります。下記の刈取適期の判定目安を参考にして、最終的な刈取時期の決定は、各ほ場の籾の黄化程度を必ず確認し、黄化程度が90%に達した時期で判断してください。

また、平年より籾数が多い傾向のためデンプンの転流が不十分になり、白未熟粒が発生しやすくなっています。十分な登熟期間を設けて品質向上に努めてください。

<刈取適期の判定目安>

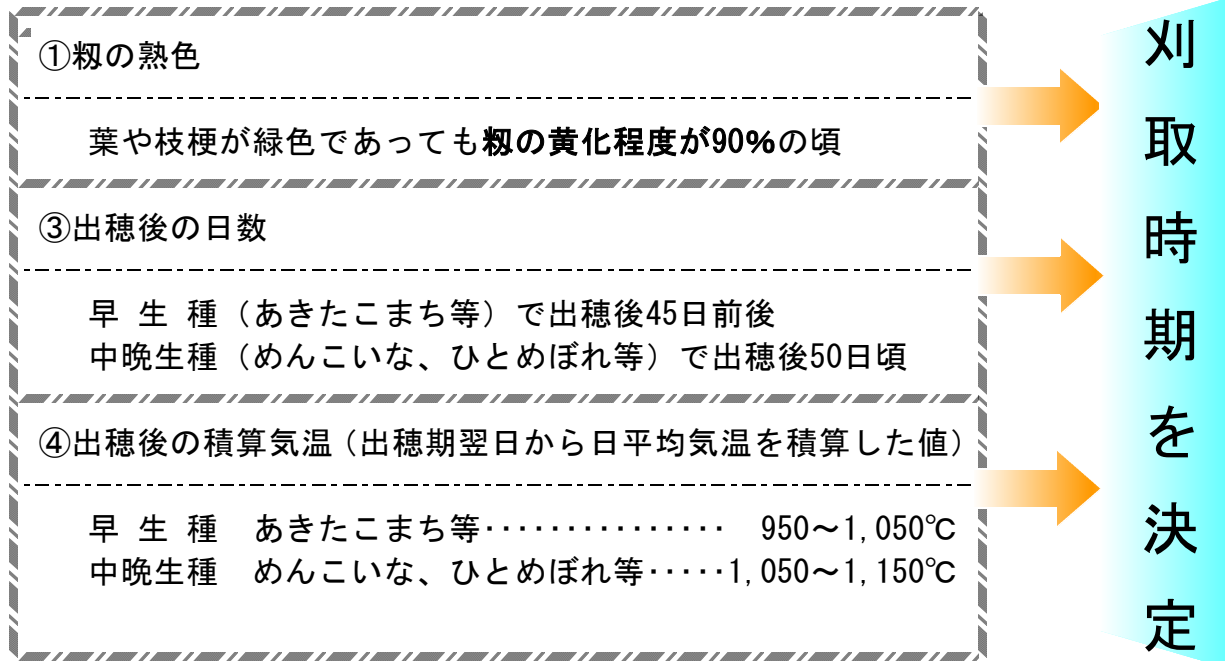


表2 積算気温到達日予想

出穂日	950℃(平年)	1050℃(平年)
7月25日	9月3日(9月4日)	9月8日(9月8日)
7月30日	9月9日(9月9日)	9月14日(9月14日)
8月5日	9月18日(9月17日)	9月24日(9月22日)

※ 9月16日以降平年値で計算

<秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日>

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクターに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。

!! 稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日 !!

問い合わせはJA、または農業振興普及課まで
HPは「美の国あきたネット 北秋田 コメ通信」で

QRコードからも→
～次回発行は12月中旬予定～

